みのり

第 131 号
発行　令和８年 10 月 14 日
編集者　おおいそ学園広報委員会

『Chance Challenge Change』

おおいそ学園副園長（兼）生沢分校教頭　武下　憲史

今年度４月１日付でおおいそ学園の副園長及び大磯町立国府小・中学校生沢分校教頭に着任しました武下です。どうぞよろしくお願いいたします。学校や教育委員会等で長年勤務してまいりましたが、福祉の世界は初めての経験となります。また一から学ばせていただいているところです。

令和８年度も桜の花が咲きほこる中スタートし、あっという間に数か月が過ぎようとしています。６月に行われた関東少年野球大会。野球経験のあるなしにかかわらず、子どもたちは大会に向け大きな声を出しながら、真っ黒になって日々練習に励んでいました。その中で、技術の向上だけではなく、挨拶や礼儀についても身に着けていく姿もあり、大会が終わって学園に戻ってきた彼らの態度は大変立派でした。一つのことに一生懸命に取り組み汗と涙を流した経験は、今後も彼らの成長の証として胸に刻まれることでしょう。

さて、『Chance Challenge Change』は、国府小・中学校生沢分校のスローガンです。学園に入所し分校に通うことを、自分自身が変わる「Chance」（機会）ととらえ、過去を脱却して新たな自分を創り出すために様々なことに「Challenge」（挑戦）し、退所する頃にはたくさん成長して「Change」（変化・成長）している姿を見てもらおう、そんな願いが込められています。学園への入所は、決して悲観的になるものではなく、逆に自分を変えるための新たなスタートを切る良いチャンス（機会）をもらったのだと。発想の転換をすることで学園や分校での生活に意欲的に取り組むことができるようにとの思いも詰まっています。

学園に来るまでは長距離走の経験が全くなかったのに、毎日の朝マラソンで鍛え上げ、体力の向上とともに新たな自分を発見している子や、学習面でも、集中して授業に取り組むことができるようになった子もいます。ここおおいそ学園・生沢分校では、日々児童・生徒の「Change」を目の当たりにし感じることができます。

このような子どもたちの「Change」は、分校の教職員の力だけでは決して成し得ることはできません。子どもたち一人ひとりの努力はもちろん、日々の生活を支えている学園の職員、児童相談所職員、前籍校の先生そして保護者の皆様の支援があって初めて成立するものです。今後も関係諸機関の皆様のお力添えをいただきながら学園・分校職員の協力協働体制のもと、『Chance Challenge Change』の実現を目指して支援してまいります。今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



行事特集①～サマーキャンプ～

桂寮

今回、桂寮のサマーキャンプは「小田原のいこいの森リキャンプおだわら」という場所で行いました。自然豊かで、近くに水浴びができる川もあり、非常に過ごしやすい場所でした。

そこではバードゴルフが体験でき、初めて経験することもあって、うまくできないこどももいました。それでも、何度も繰り返し練習しながら楽しんでいました。



それ以外にも、川で水遊びをしたり、事前にこどもたちに聞いておいた食べたい食材を使ったバーベキューをしたり、早朝には昆虫を見つけるため森を散策したりと、普段経験できないことを多く体験できて、こどもの生き生きとした様子が見られました。

特に気に入っていたのは川遊びで、木陰の中、大人と一緒に全身ずぶ濡れになりはしゃいでいる姿を見ることができ、非常に良かったと感じました。（桂寮　奥住）

竹寮



竹寮では７月 29 日～30 日に秦野市にある表丹沢野外活動センターにてサマーキャンプを行いました。当日は公共交通機関での移動でしたが児童それぞれまとまって行動ができました。表丹沢野外活動センターではクラフト体験と BBQ などを行いました。クラフト体験では竹箸と竹トンボづくりを行いました。先生の説明を聞きながら集中して取り組んでいました。BBQ では児童それぞれ火おこしや調理に取り組んでいました。児童の今まで見られなかった一面も見えたキャンプでした。（竹寮　松田）

梅寮

令和 ８ 年度の梅寮サマーキャンプは園内でバーベキュー、流しそうめん、花火を開催しました。流しそうめん用に使う竹に不備があり、当日に竹を急遽切り出して行うこととなりましたが、児童達がよく動き、無事に行うことができました。特に流しそうめんは実際にそうめんが流れる様子に児童も喜んでいました。夜は花火を行い、様々な色合いの花火を児童、職員で楽しみました。協力してキャンプが行えたことに児童達の成長を感じました。（梅寮　菅野）



行事特集②～野球部　活動紹介～

野球部は、本年度より神児研県大会が 10 月になったため、１月中旬から 10 月中旬までと他部活動より長い期間、活動をしています。４月に新チームが発足してから、対外試合を二試合行いました。向陽学園様と心泉学園様との練習試合を行い、状況に応じた声掛けや仲間への励ましの言葉、何よりも「礼儀、マナー、挨拶」の大切さを再確認する機会となりました。6 月 11 日にひたちなか市民公園野球場で関東少年野球大会が行われました。結果は、初戦敗退となりましたが、最後まで諦めずに声出しをし続けたナインにとって貴重な経験となりました。夏休み期間は、熱中症に気を付けていきながら限られた時間の中で練習を積み重ねています。10 月には、神児研県大会が２日間にわたって行われます。中３生にとって最後の大会でより良い結果を残せるように鍛錬してまいります。（梅寮　宮島）



～水泳部　活動紹介～

今年度の水泳部は、水漏れによりプールが使用できないという波乱のスタートとなりました。８月８日に今年度初の水泳部の活動として、東海大学にて大越教授より水泳指導をしていただきました。その後１度だけ園外のプールで練習させていただき、８月 19 日に神奈川県児童福祉施設水泳大会に参加しました。練習不足ではありましたが、全員が最後まで泳ぎ切りメダルを３つ獲得することができました。関東大会には３名の児童が参加し、最後まで諦めることなく全力で取り組んでいました。練習ができれば、より記録が伸びる可能性を感じる児童が多かっただけに、悔しさがこみ上げる夏となりました。来年はまた園のプールに、子どもたちの元気な声が戻ってくることを願っています。（梅寮　清水）

～高等部と収穫祭　活動紹介～

毎年11月23日勤労感謝の日「おおいそ学園収穫祭」を開催します。

ところで高等部は、学園の広大な畑で通年農作物を育てています。広大な畑で獣たちとの闘いです。農作物（食料）の争奪戦こっちも必死だが、獣たちも必死、どちらも死活問題。今年度、頂上畑を竹林から高さ２m50ｃｍの竹を３百本切り出し、畑をぐるっと囲いました。それでも、今年の９月は雨続き、ほぼ毎日降水があり、高等部が畑に入れない日が続くと、人間のにおいが消えてしまってか、獣たちがグイグイ、本気で挑んできています。ぬかった土を掘り起こし、柵の下から侵入、また体当たりを繰り返し破壊し侵入、食べ荒らされて、高等部生は怒りと落胆、でも根気強く次の対策をしています。

台風でも落ちなかったリンゴは、落ちないリンゴとして受験生に爆売れしました。おおいそ学園の農作物も、熾烈な戦いから生き残った、奇跡の野菜として、収穫祭で販売します。以前と比べると販売できる量は減ってしまいました。でも育てた高等部生に戦いの賞賛として、「あっぱれ」と声をかけてください。お待ちしています。（地域自立グループ　床井）

～医務課だより～

今年は梅雨が短く暑い日が続いたので、特に熱中症に注意をしました。部活では開始する時間を遅らせる、水分や休憩をとるなど進めました。寮職員の協力もあり、児童は真っ黒に日焼けして元気に過ごすことができました。８月末に身体計測をしました。多くの児童が、４月の計測値より身長が伸びていました。「やった！」と喜んで、お互いに自慢し合っていました。（看護係長　川口）

【主な大会結果発表】

６/11	関東少年野球大会	初戦敗退
７/20	県卓球大会	
８/19	関東少年水泳大会（個人・リレー）	４位

【編集後記】

８月までは酷暑の夏でしたが、９月は一転秋雨前線と台風の影響でほぼ毎日雨が降り、関東でも水害が発生するなど、防災の意識、対策が必須な状況になっています。９月は長雨で寒暖差の大きい体に厳しい時期でした。その中子どもたちは運動会に向けて必死に練習をしています。次号で運動会の様子をお伝えします。お楽しみに！（広報委員会）